



こどもたち TEKNA

2024年クリスマス号

光に導かれるクリスマス

渡邊明子

2024 年のクリスマス おめでとうございます。

MJM 東京は12月11日 植松功氏をお招きして、聖オルバン教会でテゼの祈りの会を開くことが出来ました。

♪イエス様が産まれる。この暗闇を照らす光。♪



11日当日は、チャンセルにキャンドルの光が瞬く中 “聖メナスとキリスト”のアイコンが飾られました。毎年 植松功氏がお持ちくださるアイコンです。そのアイコンを前に 参加者が様々なテゼの歌に声を合わせ歌い、詩篇、聖パウロの信徒への手紙の朗読を通し、静かなお祈りの時間が流れていきました。まさに心が澄み渡り 平和に溢れる貴重な時間でした。

テゼのお祈りの会の終了後、私は功さんが教えてくださった聖アンデレ主教座聖堂のホームページの読書室に載っているアイコンの説明(筆者 瀧口 美香氏)を読みました。それを私なりの解釈で以下のようにまとめてみました。

“3世紀ごろにエジプトに生を受けたメナスは ローマ帝国のキリスト教に対する弾圧や拷問にも負けず信仰をつら抜いた結果、ついに首

を切られ殉教するのです。

アイコンの中で 夕暮れのエジプトの砂丘を背景に佇むメナス。そしてその横に立つイエスは、右手でメナスの肩を抱いています。これからメナスはどこに向かって旅立つのでしょうか。すぐにも迫り来る夜の闇を、目印のない夜の砂漠を、目指す方向に向かって歩き続けられるのでしょうか。

でも心配は無いのです。メナスは歩き続けられるのです。

なぜなら 隣にいるキリストが闇のその先にある道を示してくださるからです。

キリストの掌を肩に感じながらメナスは歩いて行くでしょう。たとえ暗い闇の中で自身はその行く道が見えなくても。

日が沈む時も、再び昇る時も、キリストの光があります。恐れずに惑わずに見えない光の方向にキリストと共に進んで行くのです。独りではないのですから。”

これは私たちへの励ましと癒しのメッセージと受け取れます。

2024 年のクリスマス。

さあ 我々もキリストに護られ、その恵みを受けている子供として 日々を歩んでいきましょう。

必ずや 祝福の中で過ごすことができ、闇の中にも光の道が与えられるでしょう。

♪私たちが暗闇にとどまることのないように キリストは光として世にこられた。♪

まさにテゼのこの歌を歌い、クリスマスを迎えます。

12月11日10時30分～植松功兄による「テゼの祈り」

出席者: 三浦万都美、阿部園子、吉松さちこ、丸川陽子

zoom 出席者: 廣嶋都留、渡邊 明子、安井晃子、 Gillian Wolte-Tsuchiya さんとお連れ合いが NY から参加してくださいました。

ご紹介。

丸川陽子さんは MJM とは長いお付き合いです MJM NY の夏のリトリートのキャンプにも日本から毎年のように参加。また 聖書会にも参加なさっておられます。松原教会の旧約聖書の講座で一緒にされている安井晃子をテゼの祈りにお誘い下さり、何度か Zoom 参加されています。

<丸川陽子さんからの自己紹介>

カソリックの小学校を卒業しやっとな 2010 年に 61 歳でカソリックの受洗しました。

その後大学時代の友人のご親切で NY の聖公会のキャンプに毎年のように参加させて頂き、聖公会そして皆様の素晴らしさを感じています

とりわけ植松様のテゼは素晴らしく先日もそうでしたが胸に沁み、心の痛みが取り除かれ平安を感じます

MJM 東京では、2025年のイースターのテゼの祈りも4月23日(水)予定されております。

東京教区共育プロジェクト 黙想会（信仰と生活委員会）

月に1度【テゼの歌・アイコン・沈黙】ファシリテーター:植松功さんで行われています。

12月21日(土)16時半 目白聖公会

ご興味のある方は東京教区ホームページをご覧ください。

下町グループの聖書会は毎月第3金曜日 19時より zoom にて上田亜樹子司祭のもとで行われます。

この会にはいつも MJM 東京の ZOOM で参加して下さる高津さんが参加されています。

この会は私たち MJM 東京の例会でもなじみのある、キャンドル会の形式で行われます。聖書会の資料もメールでお送り下さり、皆様にお送りしたと思います。是非皆様ご参加下さい。

「聖書と聖歌の会」

2025年2月14日 金曜日、10時～12時、月島聖公会にて

世話人:上田 亜樹子 司祭

聖書のメッセージと歌詞を視野に入れつつ、聖歌を味わう会です。最後にティータイムもあります。

参加なさりたい方は、どなたでも歓迎です。会場の都合により、前もって MJM 東京にご連絡下さい。月島聖公会の係の方にご連絡いたします。

12月13日に行われた会では、それぞれがリクエストして降誕節の聖歌をみんなで歌いました。

NY MJM で活躍されている Tomoko Sakurai Mazur さんが12才の時に作られた78番も皆で歌いました。降誕節の聖歌を亜樹子先生のリードと伴奏で歌う、恵み多い一時を過ごしました。

NY MJM の活動 遠山京子さんのメール(10月11日)

ニューコミュニティーの皆様、そして MJM の友人の皆様、

日本時間の昨夜、ノーベル平和賞が日本被団協に与えられるというお知らせがありました。被爆者の方々の草の根の活動で、この75年近く、平和運動をなさってきた努力が認められ、またこの賞が今世界

中で起こっている戦争そして核の脅威をもたらしている国々にも戒め、また釘をさしたという示唆があったと思います。

MJM も20年以上、被団協がニューヨークにいらっしゃる際は支援、ヴォランティアをさせていただいてきました。でも実際には我々が支援というか、被爆者の絶え間無い平和への訴えを横で聞いていて、日本人として、当然のことであっても、なかなか動く人はいず、それでも、ニューヨークという外国に住んでいるからこそ、日本を外から見、そしてサポートをする責任を感じてきました。私はニューヨークに来てすぐ、大学院生の時、その前に留学を一緒にした友人が日本に戻って、平和運動をしていたのを聞いてはいても、他人事でした。ところがその友人が被爆者を連れて国連での会議に出席するので、ニューヨークにいらっしゃる被爆者の支援、通訳をしてくれないか、ということで半信半疑で始めたのがもう38年ほど前です。この何十年で感じたことはこのような支援の中で、私が学ばされることのほうが多くて、はっきり言って、生き方、特に使命を持った生き方のヒントを頂きました。被団協の幹部の方々は、勇気があるだけでなく、ご自分の名声地位(多くの幹部の方は元大学教授や教師、医者の方もいらっしゃいます)を掲げず、皆さんが、「ヒバクシャ」という共通のアイデンティティーで自己紹介し、市民の方々と接していらっしゃいます。本当にたくさんのことを学ばせていただきました。

どうぞ、もし被団協の方々にメッセージがありましたら、お送りください。まとめて被団協にお送りさせていただきます。12月に私が日本に帰国したときはたぶんもう授賞式からお帰りになってからだと思いますが、オフィスにお寄りしたいと思います。

遠山京子さんの呼びかけに、何人かの方がメッセージをお送りしました。まもなく遠山京子さんがオフィスに行かれて、直接お祝いをされていることと思います。NY MJM の20年以上に渡って被団協の方々のニューヨーク滞在のサポートされ、地元の若者たちへの橋渡しをされてきたことは、素晴らしい働きだと感動しております。そうしたお働きの一部がNHKの特集で放映されました。

2024年11月26日放送された「キャッチ!世界のトップニュース」

では特集「アメリカで核兵器廃絶を訴える」で遠山京子さんのインタビューが放映されました。

【アメリカの若者に広がる核兵器廃絶の願い】ことしのノーベル平和賞に選ばれた日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会。受賞の背景には被爆者による海外での積極的な啓蒙活動がある。国連での会議のたびに地元の学校などを訪問し、若者に核兵器を廃絶する必要性を訴えている。そうした中で、核兵器に対する認識が変わるアメリカの若者も出てきているという。被団協の訪問を受け、核兵器廃絶を願うようになったニューヨークの高校生たちの姿を紹介する。

今回も TEKNA はメールでのお届けになります。郵送をお望みの方はお知らせください。
会費は頂いておりませんが、ご支援くださる方は三菱 UFJ 銀行に献金をお願い致します。
本年度、高津達夫さんと横山融さんから献金を頂きました。感謝致します。
テゼの会の会場のオルバン教会へ、MJM 東京から2000円お捧げいたしました。
また、席上献金は植松功さんの活動のためにお捧げいたしました。

三菱東京 UFJ 銀行 吉祥寺支店(店番:220)普通 口座番号 1793933
(ゆうちょ銀行は口座を閉じることに致しましたので、宜しく願い致します。)

MJM 東京のメールアドレス

mjmtokyo.tekna@gmail.com

毎月の例会のお知らせは e メールでご案内しています。登録がまだの方は、メールをください。よろしくお願いいたします。

